城東区スポーツカーニバル　ボッチャ大会申し合わせ事項

【競技形式】

1. 各試合は３人制の２エンドで実施する。
2. 先攻、後攻は試合前の「じゃんけん」で勝った者が選択する。
3. 予選はリーグ戦、決勝は各予選リーグ１位のチームによるトーナメント戦とする。
4. 予選リーグの順位は勝点制とし（勝:３点、引分:１点、負:０点）、同順位の場合は①得失点差、②総得点の順により決定するが、なお決しない場合はタイブレークを行う。
5. 決勝トーナメントの各試合で引き分けの場合は、タイブレークで勝チームを決定する。

【選手交代】

6. エンドごとの選手交代は自由とする。
7. 体調不良等のやむを得ない事情によるエンド内での選手交代は、審判長の決定により認めることができる。

【タイブレークの形式】

8. タイブレークは、両チームが投球者を１名選び、クロスの位置に置いたジャックボールに各１球のみ投球し、距離の近い方を勝ちとする。
9. 投球の順番は「じゃんけん」で勝った者が選択する。
10. １回目で決着がつかない場合は、タイブレークを繰り返す。その際、投球者は別の者に変更してもよい。
11. 投球順は前の回の逆とする。

【ペナルティ】

12. 住民交流の趣旨に則り、反則行為に対しては審判による注意を原則とし、ボール除去、ペナルティボール、失格等の罰則は科さない。
13. 反則行為が故意によるなど悪質と認められる場合は、審判長の決定により罰則を科すことができる。

【無効エンド】

14. 審判の過失によってコート上のボールが動いてしまった場合は、審判の判断でできるだけ元の状態に戻して試合を続行することを原則とする。
15. 原状に復帰することが困難と審判が判断した場合は、審判長の決定によりそのエンドをやり直すことができる。

【時間】

16. 各エンドの制限時間は設けない。よって計時は行わない。
17. 過度の投球遅延行為にたいしては審判が注意を与え、悪質と認められる場合には審判長の決定により罰則を科すことができる。

【補助具】

18. 補助具についての基準と制限は原則として設けない。
19. 補助具はスローイングラインより前に出てはならない。

【介助者】

20. 介助者は選手とともにコートの中に入ることができる。
21. 介助者が選手および補助具の位置の調整を行う際には、選手の指示に従うものとし、助言・意見をしてはならない。
22. ただし、視覚障がいがある選手または知的障がいがある選手に対してボールの位置を伝えることは可とする。